

「居場所提供型」女性人材育成プログラム 【豊田市】

個別事業費	2,431 千円
交付金額	1,215 千円

地域の実情と課題

本市は自動車製造業に従事する人が多く、2021年の経済センサス活動調査によると、従業者数300人以上の事業所で働く人が就業者数の39%を占めており、全国の15.5%と比較し高い水準となっている。また2020年の国勢調査から、女性の年齢別労働力率をみると、全国、愛知県に比べ、20代後半から30代までの労働力率の谷が深く、その活躍に向けた環境整備が求められる。

事業の特徴

①スキルアップ、マインドアップ講座、②体験型連続講座、③交流会、④個別フォローアップの実施を行った。①及び②は講座内でグループワークを複数回設けたり、体験型連続講座を実施することで参加者同士の交流を促し、居場所づくり機能を持たせた点が特徴。また、手法の異なる複数のメニューを行うことで、講座開催などで陥りがちな一方通行のアプローチではなく、一人ひとりに寄り沿った再活動やステップアップ等につながる総合的な支援となっている。

事業の効果

受講者のうち再活動やステップアップ等につながった割合は100%であり、「受講者のうち、再活動やステップアップ等につながった女性割合90%」という事業目標を達成することができた。また、令和7年度市民意識調査における「女性が活躍できる環境が整っているまち」の満足度は、目標値である4.4ポイントには達しなかったものの、前回調査の3.89ポイントから3.92ポイントへとわずかながら向上が見られた。本事業で実施した取組も一定の影響を及ぼした可能性があると考えられる。

目的・目標

【目的】孤独や不安を抱えていたり、ステップアップや起業検討中など、様々なステージにいる女性を対象として講座や面接相談を実施することで、再活動やステップアップにつなげる。

【目標】①市民意識調査の「女性が活躍できる環境が整っているまち」についての満足度4.4ポイント

②受講者のうち、再活動やステップアップ等につながった女性(7外カム):講座等受講者の90%

【実績】①3.92ポイント

②13人/13人(最終回講座の参加者)=100%

連携団体

市内のNPO法人ブルーバード → 業務委託

豊田市役所 産業部産業人材活躍課
女性しごとテラス「カプチーノ」

→事業PR及び個別相談、フォローアップでの情報提供

今後の課題

多くの市民に機会を提供するため、周知手法については一層の工夫・充実を図る必要がある。また、市域が広範であることを踏まえ、受講を希望する市民が参加しやすい環境を整備する観点から、講座開催場所の拡大が求められる。具体的には、市内の公共施設等を活用し開催場所を分散化することで、女性の学びや活動が市域全体へ波及するよう取り組むことが今後の課題である。

事業の概要

女性のためのスキル&マインドアップセミナー「éclat (エクラ)」

「居場所提供型」女性人材育成プログラム事業の事業名を「éclat (エクラ)」とし、①スキルアップ、マインドアップ講座の開催、②体験型連続講座、③交流会、④個別フォローアップを実施。

①スキルアップ、マインドアップ講座の開催

ライフステージやテーマに応じた講座を実施し、女性のマインドアップ、キャリア形成を促進した。また、講座内で参加者同士が情報交換をする機会を積極的に設けることで参加者同士の交流を促し、講座の「場」が安心感を得られる居場所となるよう講師等による積極的な声かけなどを工夫した。

また、3期に分けてチラシを作成し、平日、休日両方の日程を用意することで、参加者の選択肢を増やした。

②体験型連続講座の実施

活動目標を設定した体験型の6回連続講座を実施。(ガイダンスを含めると7回。)イベントの企画運営という実践的な活動体験を通して参加者の貢献意欲や能力発揮意欲を高めるとともに、参加者同士の交流を促進した。



↑ 講座および連続講座の様子

③交流会の実施

講座で得た学びや経験を共有し合う場として機能し、参加者同士が継続的につながるきっかけとなった。交流会では、今後の活動やキャリアに関する意見交換も活発に行われ、参加者のモチベーション向上に寄与した。

④個別フォローアップの実施

キャリアコンサルタント等との1対1の個別フォローアップを実施した。面談で女性の抱える悩み(孤立不安、再活動、再就労、家庭と仕事の両立、仕事上の不安等)をカウンセリングし、個々のライフステージに合わせた解決策を提案した。また講座等に参加した希望者に対しフォローアップを行い、受講者が感じた課題などに対して適切なアドバイスを実施した。



↑ 3期に分けて作成したチラシ

①～④に示す異なる手法による複数の支援メニューを併用することにより、講座開催において生じがちな一方向的な支援提供に陥ることなく、個々の状況に応じた再活動の促進および段階的な能力向上へと結びつける総合的な事業を実施した。